

役員立候補者等 公示

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	やまもと こうじ 山本 幸治	性別	(男) 女	生年月日	西暦 1974年2月18日	年齢	40歳
勤務先名	札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課						
会員番号	10010	市町村	札幌市				
主な活動歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2005年度～2006年度 北海道福祉サービス第三者評価事業推進機構書記(認証委員会、基準等委員会児童部会) ・ 2009年3月～ 北海道社会福祉士会理事(担当:福祉サービス第三者評価事業) ・ 2011年3月～ 北海道社会福祉士会副会長(担当:福祉サービス第三者評価事業、障がい者等地域生活支援委員会、現場実習指導者研修委員会) 						
立候補理由・抱負	<p>様々な福祉分野(児童相談所の児童福祉司、保育所の施設整備や運営指導、介護保険等の給付、地域福祉活動者の支援、障がい者の就労支援や相談支援)、北海道社会福祉士会での活動を通じて得てきた経験や知識を生かして、引き続き本会に貢献したいと思い、全道選出理事として立候補させていただきます。</p> <p>この二年間は副会長として、他の正副会長、担当理事、関係者とも協議を重ねながら、福祉サービス第三者評価基準を活用した自己評価研修会の実施分野の拡大、担当委員会の事業の見直しやレベルアップに取り組んでまいりました。</p> <p>当会の使命は、社会福祉士による道民福祉の向上の推進です。このためには、社会福祉士の育成・資質向上、会務のさらなる改革が不可欠です。もし再び理事として選任いただいた場合には、皆様方のご意見・ご指導を仰ぎながら、最小の費用で最大の効果が得られるようより一層取り組みます。どうかよろしくお願いいたします。</p>						
推薦者-①	石川 芽衣	会員番号	3094				
推薦理由	<p>山本幸治さんは、札幌市役所において、児童相談所をはじめ、介護保険給付や区役所の地域福祉部門等の職務につき、現在は障がい福祉課の係長として勤務しております。行政機関では現場におけるソーシャルワークから本庁部門による企画立案・実施といった、幅広い職務がありますが、山本さんはまさに幅広い福祉分野で経験を積むとともに、豊富な知識を備えてきており、これからの札幌市の福祉行政を担っていく人材といえます。</p> <p>経験や知識だけではなく、何よりも、自らの資質を向上させるための努力を惜みず、福祉への情熱を携えている山本さんの力は、札幌だけではなく北海道全体の福祉の向上に必要なものと考えております。よって、引き続き北海道社会福祉士会に力を発揮していただきたく、同会の理事とし推薦いたします。</p>						
推薦者-②	木村 靖子	会員番号	20945				
推薦理由	<p>山本 幸治さんとは、カウンセリングの勉強会で、ご一緒させていただいたのが最初の出会いでした。学生時代から人形劇を愛好され、他者の笑顔と幸福を喜びとされる方です。</p> <p>札幌市の職員として、様々な福祉分野での経験もお持ちで、実務面において、大変に優秀な方であります。福祉への熱い情熱を持ちつつ、冷静な判断のできる山本幸治さんを、私は社会福祉士会理事として推薦させていただきます。</p>						
推薦者-③	安田 佳子	会員番号	48792				
推薦理由	<p>山本幸治氏は、札幌市児童相談所在職中に社会福祉士を取得され、児童福祉行政において活躍をされてきました。その後、保育所の整備や運営指導に携わり、児童家庭福祉の資質向上に熱心に取り組まれ、他の福祉分野に異動後も福祉行政の向上に精力的に取り組まれております。</p> <p>北海道社会福祉士会では、副会長として道民福祉の向上に尽力を注がれております。常に冷静で真摯に取り組まれる山本氏は、引き続き北海道社会福祉士会への発展に寄与する人物として、ここに推薦いたします。</p>						